

研究課題番号	1-2203
研究課題名	トップダウンによる生態系機能を活用した新たな干潟管理手法の提案：水産資源回復と生物多様性保全の両立を目指して
研究実施期間	令和4年度～令和6年度
研究機関名	長崎大学
研究代表者名	山口 敦子

1. 委員の指摘及び提言概要

有明海の干潟生態系の食物網・食物連鎖の把握を目的とした、意欲的で興味深い生態学的研究である。中間評価段階でかなり複雑で精緻かつ包括的な食物連鎖の図が作成され、トッププレデターやKeystone種も把握されつつあるようで、一定の成果が期待できると考えられる。生物学的にも興味深い。食物網の時間的（季節）変化、空間的变化を考慮し、どのような上位捕食者を操作・管理することで、水産資源の回復に繋げることが可能か、また、そうした管理が生物多様性保全と両立され得るのか、プロジェクトの終了時までには答えを出してほしい。期待している。

2. 採点結果

評価ランク：A